阿武町行財政改革等特別委員会 会議録

令和6年9月12日(木曜日)

場所：委員会室

開会 9時00分 ~ 閉会 10時42分

委員会に付した事件

令和6年9月10日開会の令和6年第3回阿武町議会定例会より付託された案の審議。

出席委員

委員長	7番	松田	穰
副委員長	6番	上村	萌那
委員	1番	米津	高明
〃	2番	白松	靖之
〃	3番	西村	容子
〃	4番	池田	倫拓
〃	5番	市原	旭
議長		末若	憲二

欠席委員 なし

欠員 なし

出席説明者

町長	花 田 憲 彦
副町長(総務課長事務取扱)	中 野 貴 夫
教育長	網 本 徳 文
まちづくり推進課長	高 橋 仁 志
健康福祉課長	矢 次 信 夫
戸籍税務課長	水 津 繁 斉
農林水産課長	野 原 淳
土木建築課長	近 藤 慎 治
教育委員会事務局長	藤 田 康 志
会計管理者	柴 田 奈 美
福賀支所長	工 藤 茂 篤
宇田郷支所長	小 野 智 彦

欠席者 なし

事務局職員

議会事務局長	三 浦 貴
書 記	平 田 祥 子

審議の経過(要点記録)

開会 9時00分

○特別委員会委員長(松田 穰) 行財政改革等特別委員会をはじめたいと思います。委員会に先立ちまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

本日、例年のごとく決算議会ということもありまして、長山代表監査委員にも連日ご出席をいただいております。本日もありがとうございます。

さて、最近の話ですと、我々自分と一緒に働いている、新人の漁業者さんが、9月から山口新聞のコラムに、毎週月曜日に一筆書かせていただいております。先週は休刊日で、まだ1回しか出てないですけど、中々友達ができないということで、ちょっとマイナスな感じのコメントを書きましたっていったんですけど、早速、役場の若い職員が、それだったらということで、友達になってくれるということでした。狭い田舎町の早い反応というのはいいことだなと思いますし、こういったちょっとしたつながりが、また定住にもつながっていくのかなというふうに思います。やっぱり、こういった町のいいところをしっかりと大事にしながら、今後も、移住者の方に優しい町になっていけたらなと思いました。

では、本日の委員会も決算議会ということで、令和5年度の歳入歳出決算の認定についてという主な議案も含めて、合計11件の議案が付託されております。しっかりと審議を行いまして、的確な質疑応答を行いましょう。では着座にて進行をさせていただきます。

○特別委員会委員長 本日の出席委員は7人です。本日委員会に付託されました議案は、議案第1号から議案第5号、議案第7号から議案第12号までの11件です。

審議に入ります前に、町長のごあいさつをお願いいたします。

○町長(花田憲彦) あらためまして、おはようございます。2日目のご出席ありがとうございます。今、委員長さんの方からお話がありましたように、町も色んな形で若い人が入ってきたり、色んな人の出入りがあって、なんとなくですね、私、この前もいったと思いますけど、役場の職員も含めてですけど、段々、今まで感じていなかったのが、まだまだ役場の職員に若い人はいますけど、少ないなという感じがしておったんですけど、この前、今年ありましたですね、職員のレクリエーションなんかのときに見れば結構おるなと、昨日一昨日やった職域ソフト、これも54回という永きにわたって、この前参加した選手の年より永い54回だ

から、大方の人は30代40代50代くらいの人が多かったと思いますけど、その人より永い54回という長い歴史で職域ソフトボールをやってきて、多いときには本当に何試合も何試合もやるような状況、2日も3日もかけてやっていた時代もあったと思いますけど、それがコロナもあつたりして、段々と少なくなったわけですが、そうはいいいながらも、この度、美萩工芸さんが新たに参加していただいて、とはいいいながらも3チームですけど、でもそれがコロナで中段していたものがまた復活してですね、細々とではありますけれども、続けていかれるっていうのは、本当にありがたいなというふうに本当に感じたわけでありまして。やはり、それぞれの町民の1人ひとりが、例えば町の職員であつたり、議員さんであつたり、そういったリーダー的な人達だけじゃなしにですね、一町民がそれぞれにですね、やっぱり町をにぎわかせていこうという思いを持っていただくことが、本当に町がボトムアップといいますか、底から上がっていく、大事なことだなというふうに思います。そうしたこともありますので、できるだけ、やはり何も改革せずに続けられればいいというものでもないんですけども、工夫をしながら、時代にあったような形に変革しながらですね、色んなことが続いていけばいいなというふうに、つくづく思ったところであります。

聞きますと、今年、これ決定かどうか知りませんが、さん3ふるさと祭りも何か名称を変えて、第1回奈古何とか祭りとかに変えるとか変えんとかいう話があつたりしてですね、それがいいかどうかわかりませんが、参加団体の方々が、色々過去の色々な経緯も含めた中で、それも思いの中に入れた中でですね、新しい形を模索しようじゃないかというふうな、そういうことだというふうに思っております、それはそれとして、みなさんの総意でということであれば、それは当然町としても協力していくというふうに思っております。

何はともあれ、色々な形で、町も前へ進んでいっていると思っております。

今日は、メインは決算の議会でありますし、他の案件につきましては、賛否両論というふうなことが大きくあるような案件でもないと思っておりますが、特に決算につきましては、まさにみなさん方、令和5年度の私たちがやってきた事業について、色々みなさん方から住民目線ですね、ご意見を伺って、また、今までやってきたこと全てが良いというわけではないというふうに思いますから、忌憚のないご意見をいただいて、私たちはその意見をまた参考にしながら、令和6年度そして令和7年度と改善をしながらですね、町を前にすすめていけたらというふうに思っておりますから、しっかりとご意見をいただきますようお願いをい

たします。以上です。

○委員長 ありがとうございます。では続いて、議長のごあいさつをお願いいたします。

○議長(末若憲二) おはようございます。今日は委員のみなさん、また執行部のみなさん、特別委員会の開催ご苦労様でございます。

今の町長の話で、ソフトボールじゃあないんですけど、一昨日私も開会式の方へ出席をさせてもらいまして、役場チームが出るのを見とったんですけど、いっぱい若い人が確かにいらっしゃいます、全然名前もわかりませんが、ということは、議会と接点がある人はあるかもわかりませんが、接点のない人がほとんどだと思うんです、新しい職員さん。そういうところやっぱり何か考えて、顔合わせか何かあるといいかなというふうに思っております。

今日はですね、先ほど委員長もいわれましたように、11議案がこの特別委員会に付託してあります。是非みなさん方には慎重な審議をお願いします。よろしくをお願いします。

○委員長 ありがとうございます。では、会議録署名委員を指名させていただきます。1番、米津高明委員、2番、白松靖之委員をお願いいたします。

○委員長 では、議案の審議に入りたいと思います。まず議案第1号、ちょっと長いですが、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の全部を改正する条例の審議に入ります。こちらに関して質疑はございませんでしょうか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようですので、原案のとおり可決すべきということでご異議はございませんか。

(米津委員「反対」という声あり。)

○委員長 では米津委員が反対ということで、挙手にてお諮りしたいと思います。

○委員長 議案第1号に関して、原案のとおり可決すべきということで、賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成／5人、反対／1人(米津委員))

○市原委員 委員長、ちょっといいですか。

○委員長 はい、市原委員。

○市原委員 反対といわれるのはいいんですが、反対の理由っていうのをこの場でいうことは可能ですか。

○米津委員 基本的に国の法律に対して、共産党全体で反対してますからね、マイナカードに対して、国がいわれるとおり町が変えるというのはわかるんですけど、やっぱり元が反対しているの、これに対しても反対です。

○委員長 では、反対の理由もありましたが、賛成が5名反対が1名ということで、議案第1号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第2号に移りたいと思います。議案第2号、阿武町移住体験滞在施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の審議に入ります。こちらに関して質疑はございませんでしょうか。

○委員長 西村委員。

○西村委員 2275番地はどこですか。そこだけ教えてください。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長(高橋仁志) 場所は前に説明させていただきましたけど、元々宇田の駐在所、武村さんが住まれて、その後協力隊の佐藤さんが住まれてた場所です。

○委員長 この滞在型の住宅、滞在施設に関して、お試しでどのくらい利用があるのか、データがあれば教えていただきたいです。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 今お試し住宅が実際にあるのが、福賀地区の新田と、下東郷の2軒なんですけど、まず新田住宅ですけど、利用状況でいいますと、令和元年度が1世帯1人が利用されています。その方については、そのまま阿武町の方に移住されております。令和2年度はありませんでした。令和3年度は1世帯1人の方がお試し住宅に入られまして、その後、そのまま阿武町の方に移住されました。令和4年度は、3世帯5人の方が利用されましたが、このときは移住はありませんでした。令和5年度についても、2世帯2人が入られましたが、実際には移住はありませんでした。ただ1/4ワーカーさんが、令和4年度と令和5年度で、それぞれ6人ずつ利用されておられます。

それから下東郷ですが、令和元年度と令和2年度はありませんでした。令和3年度は1世帯1人が利用されました。令和4年度は、1世帯4人の方が入られまして、これはそのまま阿武町の方に移住されております。令和5年度はありませんでしたが、1/4ワーカーが4人ほど利用されております。

期間でありますけど、移住希望の方はだいたい4日から10日間くらい利用されています。長い人については、1年くらいいらっしゃる方もおられました。

ワーカーの方は2週間から、長い人で5ヶ月程度住まれていました。以上です。

○委員長 池田委員。

○池田委員 このお試し住宅ですけど、福賀・宇田と続いて、奈古の方でもこういう形でやっていくような予定とか検討はされていますか。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 今すぐはないんですけど、適当な住宅があれば検討したいと思います。

○委員長 他には質疑はございますか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようでしたら、こちらも原案のとおり可決すべきこととご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第2号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第3号、阿武町国民健康保険条例の一部を改正する条例の審議に入ります。こちら質疑の方はございませんでしょうか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようですので、こちらも原案のとおり可決すべきこととご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第3号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第4号、阿武町地域包括支援センターの人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の審議に入ります。こちら議案第4号に関して、質疑の方はございませんでしょうか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようですので、議案第4号は、原案のとおり可決すべきこととご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第4号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第5号、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法

律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の審議に入ります。こちら、質疑はございませんでしょうか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようですので、原案のとおり可決すべきということでご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 では議案第5号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、今度は補正予算関連の審議となります。議案第7号、令和6年度阿武町一般会計補正予算(第2回)の審議に入ります。別冊の補正予算書の歳出から審議に入りたいと思います。補正予算書ページは14~15ページからで、ページを追っていきたいと思います。

○委員長 白松委員。

○白松委員 15ページになります。14節のお試し住宅の工事請負費ですが、内容をお願いします。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 大変古い住宅になっておりますが、移住体験者の方が、日常生活を送る上で支障のないようにですね、経年劣化により傷みの著しい、まず玄関戸の取替え、それから和室の畳のフローリング化、それから障子、クロスの張替え、ガス給湯器の取り付け、庭木の剪定等となります。

○委員長 白松委員。

○白松委員 この住宅は築何年くらい経っているんですか。

○まちづくり推進課長 いつ建ったかは不明なんですけど、かなり古いです。

○委員長 西村委員。

○西村委員 その件でお尋ねです。改修はいつ頃の予定ですか。

○まちづくり推進課長 補正予算成立後、すぐです。

○西村委員 いまから、移住とかそういうのを受けられると思うんですけど、まだ人は決まってないですね。

○まちづくり推進課長 今のところ、ありません。

○西村委員 何か人が入ってという話を聞いたんですが。

○まちづくり推進課長 それはないと思います。

○西村委員 お宮の下の町営住宅かなとも思ったんですけど。

○町長 町営住宅はどうなっているか。

○宇田郷支所長(小野智彦) 今は2軒とも入居されました。

○委員長 米津委員。

○米津委員 15ページ、13節のLED照明リース料ですが、今回色んなところで出てくるんですけど、これは器具だけのリース料なのか、例えば球が切れたときはどうなるのかとか、最初にやるときに、確か蛍光灯の器具の場合、球だけ変えても火災の恐れがあるので、その辺どういうふうに、ランプも含めてのリース料なのか、消耗品は町の負担なのか、その辺をお願いします。

○委員長 副町長。

○副町長(中野貴夫) LED照明のリースについては、当初は本庁のみ替えるということで見積もりをいただいて、やろうとしていたんですけど、説明しましたように、2027年12月を以て、蛍光灯の直管のランプの製造がなくなるということでありましたので、この際なので、公共施設を一応全部見積もってもらおうということで業者をお願いをして、全部調査をしていただきました。その結果ですね、灯数が4217あり、これを取り替えるということなんですけど、基本的には、電球があればですね電球そのものを替えると、どうしても合わないものについては器具ごと替えると、それは場所によって違います。場合によっては、変圧機を直接つなぐところもありますが、基本的には電球を替えると、その電球を替える工事と、その電球の10年間リースということ。10年経ったらそれは町のものとして、リース料はかからないということで、一応試算をしていただきましたら、電気料とリース料を比較した場合、リースにした方が年間70万円近く特をするということになりましたので、他市町が一遍にLEDに替えるとなると大変なことになるので、先手を打って、あらかじめ予算が通れば、リースに替えていこうというものです。だから、器具を全部替えるわけではなくて、電球を替えるところもあれば、合わなければ器具ごと替えるところもあり、そのリースということです。

○委員長 西村委員。

○西村委員 19ページ、18節の救急勤務医確保事業補助金の説明が欲しいです。

○委員長 健康福祉課長。

○健康福祉課長(矢次信夫) これはですね、萩市にあります二次救急医療機関、具体的には市民病院と都志見病院、それから萩むらた病院、夜間の救急病院をされるところなんですけど、ここにですね、宿日直で医師の方が救急患者さんを診て、その患者さんが入院した時に、お1人あたり手当3000円というのを医療機関が支払うようになっております。その3000円に対して、県が1/3の1000円、それから医

療機関が自分のところで1000円、残りの1/3を萩市と阿武町でみましょうというものです。今ですね、萩市と一緒にですね、大体900件を予定しております。その人口割ということで計上しております。以上です。

○委員長 白松委員。

○白松委員 21ページ、14節のKIYOGAHAMABASE改修工事の内容について、もう一度詳しく説明をお願いします。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 清ヶ浜のキャンプ場ですけど、あそこに事務所がありますけど、今後のサービス向上と経費の回収も含めてですね、今後かき氷等を販売していきたいということで、今現在もシンク等はあるんですが、これを飲食店営業の許可を得るための、厨房のシンクの取替え、電気関係、壁等の工事を行うための経費です。

○委員長 白松委員。

○白松委員 21ページ、17節の観光備品について、説明をお願いします。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 これについてはですね、町内各地区で行われる各種イベント、例えば奈古のふるさと祭りにおいて、まちづくり推進課で最も美しい村連合のブースとかも出すんですが、きららアウトドアフェスとか、ジオパークのフェアとか、そういったイベントの際のPR用のテレビモニター、ポータブルバッテリー、その他周辺機器等の購入費になります。

○委員長 米津委員。

○米津委員 21ページ、14節の道の駅施設改修工事の内容について、教えてください。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 道の駅の給水管関係の修繕工事と、温水プール多目的ルームのエアコンが機能しておりませんので、これの更新工事となります。

○委員長 白松委員。

○白松委員 23ページ、14節の住宅外補修工事について、説明をお願いします。

○委員長 土木建築課長。

○土木建築課長(近藤慎治) これは、水ヶ迫集会所の屋根の経年劣化に伴う改修工事を行うものです。水ヶ迫集会所の屋根は、合板屋根になっておりますが、現状で錆が酷く、腐食が進んでいる状況です。今回屋根の調査を行いましたところ、

屋根の一部分に穴が空いておりまして、このまま放置すると雨漏りの原因となるため、急遽改修工事を行うものです。改修内容としましては、古い屋根をふき替えずに、新たな屋根材を重ねるカバー工法で行う予定です。以上です。

○委員長 他に質疑はありませんか。

○委員長 質疑がないようですので、こちら議案第7号は、原案のとおり可決すべきということでご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第7号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第8号、令和6年度阿武町国民健康保険事業(事業勘定)特別会計補正予算(第2回)の審議に入ります。こちら歳入と歳出一括で質疑をお受けしたいと思います。補正予算書32～33ページからはじまりますが、質疑はございませんでしょうか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようですので、原案のとおり可決すべきということでご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第8号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第9号、令和6年度阿武町介護保険事業特別会計補正予算(第1回)の審議に入ります。こちらも歳入歳出一括で質疑をお受けしたいと思います。補正予算書42～45ページまでとなりますが、質疑はございませんでしょうか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようですので、原案のとおり可決すべきということでご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第9号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第10号、令和6年度阿武町簡易水道事業会計補正予算(第1回)の審議に入ります。こちらも歳入歳出一括で質疑をお受けしたいと思います。補正予算書47～54ページとなりますが、質疑はございませんでしょうか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 質疑がないようですので、原案のとおり可決すべきということでご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 では議案第10号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第11号、令和6年度阿武町集落排水事業会計補正予算(第1回)の審議に入ります。こちらも歳入歳出一括で質疑をお受けします。補正予算書57～66ページとなりますが、質疑はございませんでしょうか。

○委員長 1つ聞いてもいいですか。今までとは会計の仕組みが変わって、現金の出し入れとか、そのあたりはどうなるのかなと、時々監査委員の中でも話が出たりしているんですが、これまでの3月で閉めてその後清算するという流れではなくて、企業会計になると、3月31日できっちり閉めるようなかたちになって、今回は特に3月31日が日曜日であったため、その辺何か弊害とかはないのかなと思います。問題等はないでしょうか。

○委員長 土木建築課長。

○土木建築課長 今回のですね、公営企業会計への移行に伴いまして、今回につきましてはですね、3月31日での打切決算となりました。これは初年度ということでですね、特例になります。出納期間が存在しないということですね、前年度の会計年度に発生した債権、または債務については、今回未収金及び未払金として整理をしております。今回、初年度についてはですね特例ということで、来年からはですね、未収金と未払金というのは出てくるんですけど、3月31日での切り替えというふうになります。

○委員長 質疑がないようでしたら、原案のとおり可決すべきということでご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第11号は、原案のとおり可決すべきことに決しました。

○委員長 続いて、議案第12号、令和5年度阿武町各会計歳入歳出決算の認定についての審議に入りたいと思います。資料として、歳入歳出決算書と、主要な施策の実績等の資料があります。一般会計の方から審議に入りたいと思います。一般会計の歳入歳出決算書の歳出からはじめていきたいと思います。

○委員長 質疑はございませんか。

○委員長 西村委員。

○西村委員 63ページ、12節の職員衛生委員会産業医委託料について、開催回数や時間等の説明をお願いします。

○委員長 副町長。

○副町長 まず産業医の委託料を36万円ほど組まさせていただきます。産業医の先生につきましては、萩市の医師会にお願いをいたしまして、萩市の医師会から紹介のあった先生、萩市の兼田医院の兼田健一郎医師に産業医としてきていただいております。金額はですね、萩市医師会で決められている1月3万円ということですので、12ヶ月で36万円ということにしております。先生にはですね、毎月きていただいております。基本的に労働安全衛生法で特定の規模であれば、衛生委員会を設置するようになっておりますので、阿武町には50人以上の職員がおりますので、衛生委員会を設置している状況です。基本的には、年4回衛生委員会を開きます。後はですね、先生に毎月きていただいて、各職場の巡視、職員との個人面談や面接指導、ストレスチェックやその他の健康管理に関する関与の他、ハラスメント対策や職員向けの衛生講話、研修会での講師など、職員の健康管理等についての指導やご助言をいただいております。

併せてですね、職員メンタルヘルスケア事業委託料27万円ですが、これは、産業医の先生とは別にですね、山口県公認心理士協会から推薦をいただいた、防府市在住の公認心理士の杉浦先生という方がおられまして、この先生にも毎月職員のメンタルヘルスケアの事業阿として、来庁いただいております。月2万円で交通費も込みでお願いをして、研修会を開いていただいて、その時の講師料で3万円払いましたので27万円となりました。この先生も産業医の先生と同じくですね、衛生委員会に出席をいただいたり、ストレスチェック等の関与、あるいは職員の面談面接、ハラスメント対策、そういったことに対してご協力をいただいて、ご指導ご助言をいただいております。毎月先生にはですね、3時から5時まで2時間ほど関わっていただいております。

○西村委員 みなさんが、全部が受けられるわけではないのですか、希望を取られるのですか。

○副町長 当初はですね、一番最初の頃は、先生も状況がわからないので、各職員全て面談をしていただきました。今は、新しい職員と、ストレスチェックにおいて高ストレスを抱えている職員、その他メンタルにちょっと問題があるかなというふうに見受けられる職員に対してですね、ご相談して面接等をしていただい

ております。

○委員長 西村委員。

○西村委員 69ページ、14節の消防設備改修工事となっていますが、場所はどこでしょうか。

○委員長 副町長。

○副町長 これはふれあいセンター費でありますので、ふれあいセンターの消防設備でありますけど、公共施設の消防設備については、消防法により、毎年専門業者に委託して点検を行っておりますが、この点検の中で、停電時においても、火災報知器とそれに連動した非常用の放送設備が作動するためのバッテリーが、経年劣化により、容量が不足していることが判明しましたので、そのバッテリーの改修工事を行ったものです。

なお、この非常警報設備の設置場所ではありますが、ふれあいセンターの建設当初から、現在の図書的位置にあったんですけど、それを移設するとかなりのお金が掛かるということでありましたので、図書ルームの中の一部を囲って機械室にして、非常用警報設備は、移設をせずにそのままの場所に残しているという状況です。

○委員長 西村委員。

○西村委員 79ページ、18節の交流イベント経費補助金ですが、これでどのような交流に使われたのですか。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 この交流イベントについてはですね、2件ありまして、3月15日～17日のABUキャンプフィールドのオープン1周年記念イベントと、もう1つがですね、8月20日の道の駅の登録30周年記念式典の中のイベントであります。ABUキャンプフィールドのイベントについては、豆腐づくり、漁船クルーズ、チェーンソーによる討伐、特産品を味わう体験など、地元関係者と参加者が交流を深めたほか、道の駅についてはですね、森里海の市や、あぶ地域盛上隊のパフォーマンス、地魚の刺身試食会、レノファ山口のパブリックビューイング、それと子どもたちとのサッカー交流を行っております。以上です。

○委員長 西村委員。

○西村委員 87ページ、1節の成年後見制度利用支援事業報酬ですが、段々と成年後見制度が利用されるんではないかと思うんですが、件数他どのような状況なのか、説明をお願いします。

○委員長 健康福祉課長。

○健康福祉課長(矢次信夫) 昨年度の相談件数については、3件ございました。相談がありましたら、制度の内容とかでしたらそれで終わりなんです、成年後見制度を利用したいという相談の場合はですね、弁護士、司法書士、そういった方にきていただいて、この方が本当に成年後見が必要かどうかというのでケース検討会の様なものを開きます。そのときに弁護士さんや司法書士さんにきていただいたときの報酬としての実績です。大体相談があったらですね、1人に対して、最低2回ぐらいは開催するようになるかと思います。去年は3件あった内、実際に成年後見制度の利用に至ったのは1件、残り2件についてはですね、今年度に入って後見人が決定したものが1件、今申請中のものが1件となっております。

○西村委員 この制度の報酬は令和5年度からですか。

○健康福祉課長 そうです。

○委員長 1つ聞きたいんですが、121ページ、15節の原材料費ですが、何の原材料費ですか。

○委員長 農林水産課長。

○農林水産課長(野原 淳) 原材料費につきましては、基本的には、林道の管理に係る経費として計上させていただいておりますが、林道ですので、山林の施業であったり、搬出の際に利用される、林道台帳に登載された林道、または作業道の路面補修が必要とされる場合に、利用される方が碎石の購入であったり、場合によっては生コンが必要である場合もありますので、そういった原材料を支給するための予算とし計上しております。たまたま昨年度は支出がなかったということです。以上です。

○委員長 西村委員。

○西村委員 121ページ、12節の里山整備支援・竹林対策事業委託料、この件は有害鳥獣の緩衝帯ですか。

○委員長 農林水産課長。

○農林水産課長 主要な施策の47ページをお開きください。里山的な整備につきましてもですね、県の森林税、県民税これですね、裏山の繁茂竹林の対策等もやっておりますけど、これとちょっと色分をしてですね、森林環境譲与税を活用した里山整備支援・放置竹林対策事業として行っておりますが、これにつきましては基本的に農地であったり、それから、何か保護しなければならない遺物ある場合に限って、この繁茂竹林対策事業をやらせていただいております。

この写真にありますのは、昨年度実施いたしました、福賀地区の山崎古墳周辺の繁茂竹林を処理した写真です。このやり方につきましては、具体的にはですね、竹にまず穴を空けて、ラウンドアップのような強い除草剤を注入します。そして何日かおいた後に、伐採して上部分を除けてしまうんですけど、これによって、地下茎まで枯らせていって、次の竹を生やさないようにしております。

これまでですね、福賀の森見藤、説明中々しくいんですが、315号沿に植田商店ってあるんですけど、これから田んぼの方を見られたら、ちょっと高台の農地があります、この周辺の竹林の処分をしております。それから最近でありますと、阿武中学校の裏山、これをですね2年前に処分しております。それで昨年度は、山崎古墳の周辺をしております。今年度はですね、福賀地区ですけど、広域農道で積雪が酷いときに竹が倒れこんで、中々通行の時や除雪に関してもですね支障になってる箇所がありますので、この箇所の対策をしようかなと思っております。

○委員長 上村委員。

○上村委員 121ページ、有害鳥獣のことについてお伺いしたいんですけど、実績も出していただいていたと思うんですけど、捕獲数というところで、サルが増えてきたという話を色んなところでお伺いしまして、ただ有効な策というのが、正直難しいのかなというところだと思うんですけど、いっぱい作られている農家さんは、多少サルがきて食べられても、まだ沢山植えてるからみたいな話をいただいたこともあるんですけど、逆にすごく小規模農家さんだったりすると、サルがきたらもう売るのがないみたいな話も聞いているんですけど、小規模だからこそ逆に被害額も少ないから、まだまだいっていくほどでもないんだけどというお話もいただいている、ある意味泣き寝入りではないけど、諦めていらっしゃるのかなというところで、その猟友会さんの方も、免許は取られているけど、みなさんサルを捕るために免許を取られているというわけでは正直ないのかなというところで、その個人の農家さんに何か支援というのがないのかなというところで、お話いただければと思います。

○委員長 農林水産課長。

○農林水産課長 主要な施策の48ページに、昨年度の鳥獣被害防止対策に関することを載せております。今、上村委員さんがおっしゃいました、個人に対する何かの対策ということではありますが、阿武町単独事業で、阿武町有害鳥獣対策事業補助金交付制度というものを持っております。これは、内容といたしましては、進入防止柵、ネット柵、電気柵等の設置に対する資材の購入に対する補助金です。

補助率は1/2以内としておりますが、補助対象の要件といたしましてですね、販売目的で栽培されている作物、その売上がですね20万円以上、それから柵に関する購入費用が10万円以上、この申請の方に対しまして、先ほどいいました1/2の補助をしているのが現状です。

中々ですね、家庭菜園的な売上がない作物、これに補助はできないかなということで、色々ご相談はいただくんですけど、売上20万円で家庭菜園はできませんよとお知らせはしております。ロケット花火もですね、一時的には効果があるんですけど、ヒューって上がってパンというだけですので、中々サルも慣れてしまっただけですね、その内には効果がなくなってくる、やはり人間がですね、何かをたたいて追い払ってしまう、こういったことが一番効果的なんじゃないかなという気はしております。

○委員長 上村委員。

○上村委員 ロケット花火がみたいな話は聞いたことがあるんですけど、ロケット花火が最初は有効だということで、自治会のお金で買おうとされているところもあるということで聞いてたんですけど、実際にはサルも慣れてしまうということで、柵も乗り越えてきてしまうから中々難しいというところだったんですけど、またご検討いただければと思います。以上です。

○委員長 農林水産課長。

○農林水産課長 今おっしゃいました、柵も乗り越えてというのがあるんですけど、例えばネット柵の上ですね、電気柵を張る、こういうのも1つの策ではないかなと思います。サルがネット柵を登って行ってですね、その上を握ったときにビリッとくるというのも有効的じゃないかなと思います。

○委員長 町長。

○町長 補足ですけど、サルなんかは対策のやりようがない、イノシシなんかは、イノシシの防護柵はありますけど、それでも超えて入ってきたり、電牧なんかでも破って入ってきたりして、みなさん困っていらっしゃるということで、県の補助金は制度的にありまして、それは先ほどいいましたように、一定の要件があって、個人でやるというのは対象外なんです。それで、色々随分前からお話を聞く中で、特に生産農家の方が一生懸命つくった、でも土地の条件上、例えばここは自分だけと、誰かと一緒にやりましょうといっても相手がいないと、そうすると県の補助要件に乗れないということもありますし、規模が小さくても、ここの団地とここの団地、これを積み上げて農家の販売が成り立つとか色々あるんです

ね、色々話を聞いて、何とかせんにゃいけんということで、今は個人の販売農家もやるようにしてますけど、それは阿武町単独で、それは何とかしないといけないという気持ちでやっています。これは他所はやってません、阿武町だけ単独で個人でもやれる、ただ家庭菜園まで、全部例えば3万円で買いましたよとか、電気牧柵を買いましたよとか、ここまでやるとエンドレスの話になっていくので、1つの線として、個人の販売農家20万円以上の、そこであれば正規には1人ではできないけれど、阿武町がその部分をフォローする形で、単独の金を突っ込んで、やっても補助しますという制度を持っているという現状です。ですから、特にお年寄りあたりが一生懸命畑とかつくってですね、生きがいとして、それが鳥獣に荒らされる、特にサルとかイノシシに荒らされるというのは、本当にお気の毒だという気持ちはあるんですけど、補助する以上は、やはり全ての家庭菜園までというのはですね、現実問題として難しいということで、今は合間のところだけ、町の単独で補助をさせていただいているというのが現状です。

○委員長 米津委員。

○米津委員 町長がいわれた、個人の単独でやられる方のところにも、売上がいくら以上というのがあるんですか。20万円以上の売上といわれてましたけど。

○町長 そうですよ、販売農家。

○農林水産課長 基準上の販売農家は50万円なんです。ただ50万円というとハードルがすごく高くなるので、20万円くらいで補助しましょうかということで、ハードルを下げております。

○町長 もちろん個人というのはできないんですけど、そこも個人でもいいですよ、1人でもいいですよと下げているし、統計上の販売農家の基準が50万円、でも50万円はちょっと高いよねということで、もう少し下まで救おうということで、20万円まで下げています。

○委員長 ちょっと長くなりましたが、1時間経ちましたので、休憩の方を一回挟みたいと思います。10時20分から再開したいと思いますので、よろしく願います。

休憩／10時10分～10時20分

○委員長 では再開したいと思います。

○委員長 上村委員。

○上村委員 127ページ、18節の阿武町事業者版定住促進奨励補助金について、この前問い合わせがあったのでホームページで調べたんですが、ホームページで出てこなくて、企業の方にはどのように周知されているのか、お伺いしたいです。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 この事業については、令和4年度から行っておりますが、商工会が管理しております事業所の一覧表をいただきまして、その中から正規従業員のいる事業所をピックアップして、直接案内文書をお出ししております。その他、無線放送でも定期的に放送しております。

○委員長 上村委員。

○上村委員 127ページ、12節のPBL観光業務委託料なんですが、この委託先は商工会ですか。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 課題解決型学習ですが、委託先については、令和5年4月1日付で山口県立大学と締結をしております。

○委員長 上村委員。

○上村委員 去年は、県立大学の企業をキャンプ場で研修してもらいたいな、その前年度は、自転車でめぐって旅するみたいだったと思うんですけど、県立大学の方が色々なプランをご提案いただいているので、もうちょっと活用だったりができないかなというところなんですけど、いかがでしょうか。

○委員長 まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長 これについてはですね、1年かけてですね、県立大学の文化創造学科の3年生4年生が色々まわってくれているんですが、最終的にですね、阿武町における研修滞在プランに係るコンテンツ創出という報告書をいただいております。確か27ぐらい色々案をいただいておりますので、それで引き続きやってもらっておりますが、最終的にはこの辺を検討しながらですね、施策や事業を展開していきたいというふうに思っております。

○委員長 西村委員。

○西村委員 133ページ、18節の空き家対策等補助金、また民間住宅耐震改修補助金について、件数及び修理箇所、改修箇所等を教えてください。

○委員長 土木建築課長。

○土木建築課長(近藤慎治) まず空き家対策等補助金の方でございますが、これは、老朽危険空き家解体除去事業の補助金になります。この事業ですけど、老朽

化等により、放置すれば周辺の住環境に悪影響を及ぼす恐れのある、木造及び軽量鉄骨づくりの危険空き家住宅の解体費用の補助を行うものです。令和5年度の実績内訳としては、2件で合計200万円の補助を行っております。実施地区につきましてはですね、奈古地区が1件、宇田郷地区が1件となっております。

次にですね、民間住宅耐震改修等補助金の方でございますが、こちらは70万円となっておりますが、これは民間住宅のリフォーム補助金の実績となります。住宅リフォームの実績につきましては、全体で7件70万円の補助を行っております。実施地区につきましては、奈古地区が6件、福賀地区が0件、宇田郷地区が1件となっております。

それから、ここにはありませんが、民間住宅の耐震改修の実績については、令和5年度については0件ということになります。

ただし、診断員を派遣しての耐震診断についてはですね、令和5年度の実績としては1件となっております。以上で説明を終わります。

○委員長 上村委員。

○上村委員 19ページの委託料で、不用額が多いと感じているんですけど、ご説明をお願いします。

○委員長 土木建築課長。

○土木建築課長 この件に関しましてはですね、今回の公営企業会計への移行に伴いまして、3月31日時点での打切決算となります。そのため、いわゆる出納整理期間が存在しない状況でございます。そのためですね、前年度の会計年度に発生した債権または債務については、未収金及び未払金として整理することになります。今回ご指摘の決算書の委託料の不用額については、3月末時点で業務としては完了しておりますが、業者への支払いが終わってないため、未払金として、公営企業会計への移行後の4月以降に特例的未払金として支払いを行っているものです。今の簡易水道事業の方を説明しますと、委託料の不用額964万3464円の内、950万円程度を特例的未払金として支払を行っておりまして、実質の不用額としては9万円程度です。

同じく後からでできます、農業集落排水事業、漁業集落排水事業についても同じであります。農業集落排水事業でいけばですね、実質の不用額としては50万円程度、漁業集落排水事業につきましては、150万円程度ということになります。

今回、公営企業会計への移行に伴いまして、出納整理期間がないということで、不用額が多くなったものでございます。ご理解をよろしくお願いいたします。

○委員長 質疑がないようですので、議案第12号は原案のとおり認定すべきということでご異議はございませんか。

(「異議なし」という声あり。)

○委員長 異議がないようですので、議案第12号は、原案のとおり認定すべきことに決しました。

○委員長 以上で、本委員会に付託されました、議案第1号から議案第5号、議案第7号から議案第12号までの11件は、原案のとおり可決もしくは認定すべきものと決しました。全体をとおして質問や確認事項はありませんか。

(「なし」という声あり。)

○委員長 事務局または各課の方から、お知らせ等はありませんか。

(「ありません」という声あり。)

○委員長 以上で審議を終了しまして、行財政改革等特別委員会を閉会いたします。みなさま、お疲れ様でございました。

閉会 10時42分

阿武町議会委員会条例第26条の規定により署名します。

阿武町行財政改革等特別委員会委員長 **松 田 穰**

阿武町行財政改革等特別委員会委員 **米 津 高 明**

阿武町行財政改革等特別委員会委員 **白 松 靖 之**